

かながわ便り

Vol.70

MAY / JUN 2005



ムエタノン村長からブラヨン校長にポーオ記念旗の授与 開校式典にて 撮影：伊吾田

タイ・メーター校長ミャンマーに行く

13年に亘る TPAK のタイでの教育支援事業の集大成として、チェンマイ県メーター村のブラヨン校長先生を、私たちのもうひとつの活動地であるミャンマー・タウンジー郡のポーオ族の村へお連れしました。山岳民族の教育 30 年間のベテラン校長のノウハウをタウンジーの小中学校と新寮に生かれば…。支援地どうしをつなぐ南南協力の始まりです。校長と村人の話し合いは時間を大幅に超過して行われ、生徒たちの生活指導の面から学校農園で作る野菜や果物の品目まで、熱心に行われました。ポーオの人たちは校長の生き方に感動し、世界に何人しかいない人と言い、校長は勤勉で教育熱心なポーオの村人から大きな刺激を受けたようです。タイとミャンマーの 2 国の人々が子どもの教育の視点で力を合わせるきっかけを作れたことに TPAK の活動がまたひとつ楽しい展開をしたことを感じました。(ち)



タイ移動寺子屋メッターツアー報告	2
タイ・ミャンマープロジェクトサイトから	4
インフォメーション	6
インド洋沖大津波 被災地より	8
寄付・活動報告と予定	10
トークセミナーのお知らせ	12

10月13日、バンコクから国内線に乗り換えて約1時間、コンケンに到着した。タイ東北部イサーンで子ども達の教育のために活動されている「アジアこども教育センターACEC」の杉浦さんと空港で合流した。

教員を30年やってきた私は、教育の原点、キラキラした目の子ども達、開発教育などに関心があり、子ども達に会うのをとても楽しみにしていた。

出稼ぎなしには食べていけない

イサーンは、広い大地であった。真中を大きな広い道路がまっすぐに伸びていた。この道路はベトナム戦争の時に作られたそうだ。この道を大きな戦車に乗ったアメリカ兵が行き交った光景が目に浮かんだ。両側には畑や田んぼが広がっていた。

途中、日本企業の看板が見えた。日本の法律では公害など取り締まりが厳しいので、公害垂れ流しの状態でタイに進出してきているのだそうだ。

もともとイサーンは自給自足の村であった。森に行けばバナナやココナッツ、野菜があり沼では魚が取れ、米を育てて、鶏やアヒル、牛と一緒に生活していた。

しかし、天候・商社の介入による土地の悪化によって出稼ぎをしなければ食べて行けない。しかも、7年前バブルが弾けたときバンコクでも失業が増えた。

低賃金の、危なく保障もない日雇いの労働、怪我をしたり、悪い道に入ってしまった、病気になったりして、家庭が崩壊しているところもあるという。杉浦さんは子供の教育がこの地域の改革になると考えACECを創設したそうだ。

心を育てることが教育の基本

10月16日、いよいよ移動寺子屋に同行する日だ。講師のニッタヤさんとともに車

4台で朝5時に出発。タッパー村に着くと、村人や子供達が笑顔で迎えてくれた。

食後にアイスクリームが配られると、子供達は初めての食べ物におっかなびっくり。だが、その味を知ると、皆大事そうに食べた。ニッタヤさんは、子ども達にゴミの始末なども指導していた。

お坊さんの宿泊施設のテラスで移動寺子屋が始まった。ニッタヤさんは、ボンゴを叩きながら歌っている。その表情の何て素敵なことだろう。教師の表情で子供をその気にさせている。



貸し出し本の記録から誰がどんな本を読んだのかを紹介しているようだ。そしてその本の紹介をしてくれる子を探している。みんなの前で発表することが苦手な村の子ども達を励ましながらその練習をさせるのだそうだ。照れながら発表した子にはご褒美が渡された。

算数やタイ語のプリントが用意されていて、一枚終わると添削してもらい全部正解だとご褒美がもらえる。幼稚園から中学2年生まで9学年の複式学級である。

読書の時間になると、自分で読める子は一人で絵本を読む。子ども達は普段、本に触れ合う機会が少なく、食い入るように読んでいた。読めない子には読み聞かせをしていた。

庭でピンポン玉を箸で挟んで渡すリレーもした。大きい子には箸を持たせ、小さい子にはお皿を持たせ、全員に役割がある。ニッタヤさんは、「タイ人は手で食べるが日本人は箸で食事をするから、上手なんだよ」。ゲームを通して国際理解の学習をしていた。

人間としてどう生きるか、人を思う気持ちや善意、誠意を育てるのが大切であること。勝ち負けより助け合うことを基本において、正々堂々と努力することが大切だと、子ども達に教えているそうだ。

今、日本は、野球をやっている子には「イチローのようになれ」、サッカーをやっている子には「中田のようになれ」と期待する。十人十色ではなく十人一色いや百人一色になっている。

「違うということで優劣はないのだ。自分の人生は自分が主役なのだ」と、杉浦さんは、今の日本の教育に提言していた。

子ども達の知恵のすばらしさ

10月17日、いよいよ私達の移動寺子屋の実施である。前日に行ったタッパー村と違い、ブアゲーオ村にはテレビも冷蔵庫もあった。一昨年、メートー学校に行った時にホームステイさせていただいた山岳民族の村よりも、ずっと貨幣経済が入っていた。私の子供の頃、昭和30年代にそっくりな生活のように思えて懐かしく感じた。

庭にゴザを敷いて、寺子屋の始まりである。はじめは軍手の指人形で自己紹介をした。折り紙で蛙を折ると、子どもたちはピョンピョン跳ねさせて遊び始めた。

次にぶんぶんごまを見せた。子ども達はすぐに作り始めた。

穴にたこ糸を通す時、糸がバラけて通しにくい。子ども達は、ポケットからライターを出して先を焼き、糸を通しやすいようにまとめた。子ども達にとってライターとナイフは生活のための必需品だそうだ。

ぶんぶんごまが出来上がると、子ども達は上手に回し始めた。あまりに強く回し

ていたので糸で指が切れてしまい血が出た。すると木の葉っぱを取ってきて拭いた。やがて、手が痛くならないように棒を拾って糸にさし、棒を持って回し始めた。

何てすごい子ども達なんだろう。子ども達の知恵のすばらしさに感動した。

出会いと感動が人生を豊かに

今回の旅で得た一番の宝は杉浦さんとの出会いだと思う。「される側の身にならないで、する側の見方でやるから問題が起きる。教育も介護ももちろん国際協力も、人の為と書いて偽り。人の為、を強調すればそれは人の為ではない」。

人との出会いは運命を変え、感動は人を育てる。良き出会いは人生を豊かにしてくれる。



「泥田を出でて蓮の花が美しく咲く」。自分が人間らしく生きて行けば、必ずそれを見ていて賛同する人が集まってくる。そういう人が増えれば社会が良くなる。

地球市民の会かながわと知り合い、そのお陰で杉浦さんとも知り合えた。私にまた一つ財産が増えたことを誇りに思う。

移動寺小屋教室“メッター”への旅

【参加者募集中！】

日程：毎月出発(現地4泊5日)

定員：毎回2名

費用：48,000円

タイ・コンケン空港 現地集合現地解散

**詳しくは事務局まで

お問い合わせください**



タイプロジェクトサイトから

チェンマイ事務局開設に伴い近田事務局長が現地入りし、メーター村の学校支援プロジェクトの調整を行いました。チェンマイ市街地に進学生用の新寮が用意されたため、進学希望者が大幅に増加、本年度進学希望者は卒業生の88%になりました。

チェンマイ事務局日記

3月14日(月)

今日は、メーター学校を卒業しサラパッチャン工科専門学校に進学する13名の入学手続きの日だ。しかし9時を回っても、プラヨン校長先生は現れない。しばらくして電話が入り、今からサムーンを出発するという。2組の生徒の親が進学に反対して、生徒が手続きをするかどうかで迷い、大泣きに泣いて時間を食ったそうだ。

ヤワラットの親は、出稼ぎに出ているため、娘に家に帰って農作業の手伝いをしてほしい。小作農なので一人増えれば必ず収入が増える。もう一人、シリワンの両親は、女子に教育は不要と考えている。この2人の親には、入学手続きをした後で、校長が説得に行くことになった。



サラパッチャン校の会場に入ると300人以上の子どもと親が書類を手にひしめき合っている。チェンマイ市内の中学から来た生徒たちは、皆垢抜けていて、特に女子は髪型、服装などセンスよい。片やこのメーター学校グル

プの、おかつぱ、丸坊主の子ども達の顔はどの子も素朴で朴訥。この子達を本当にかわいくいとおしく思う。

今日手続きした生徒たちは、TPAKで借り上げるサラピー寮に入寮する。寮があるために、この学校への進学を希望したのだ。サラピー寮の借り上げプロジェクトに協力してくださった皆さん、ありがとうございます。

まだ3名分募集しています・・・。



3月18日〔金〕

今日は、メーター中学校の卒業式だ。3年間寝起きをともにした仲間がそれぞれに巣立っていく。卒業式は特に親の出席や来賓も無く、本当に簡素、涙の中にもさらりと終了。

謝恩会は、下級生の作った料理が並び踊りや歌など、手作りのほのぼのしたもの。卒業生の両親が作ったたくさんの見事な大輪のバラが飾られた。卒業生の胸の紫の蘭のコサージュは、中学2年生の作ったもの。何から何まで手作り、愛でいっぱい卒業式。

ここにいると、日本の学校で足りないものがはっきり見えてくる。

ミャンマー プロジェクトサイトから

平和とは！？身近な人が戦火にさらされるという初めての体験。そこから平和を考え、国際協力のあり方を考えた。PNOのリーダーであるウーアムカムティー氏は言います。「戦争からは何も生まれません。平和であることは最低限必要なことなのです。」

平和とは！？

その紙には、今日これから訪れる予定のシャン州南タウンジー郡ムエタノン村の情報が書かれていた。

「ミャンマー国シャン州タウンジー郡ムエタノン村を含む8村のポーオ族居住地域にシャン族の一派であるSURA軍が侵攻。ミャンマー国軍とポーオ族機構(PNO)の軍隊がこれに攻勢。3つの村で寺院や学校などが焼き討ちされ、負傷者が出ているためこの地域の道路が封鎖されている。」

ムエタノン村にはTPAKが小学校の建設を支援し、今日はその開校式に出席するはずだったのだ。私たちの活動対象地のポーオ族は、大変勤勉な民族で僧侶を中心にした結束の固いコミュニティーを作り上げ政府に協調的な平和的姿勢を保ち、民族の明日を担う子どもたちの教育にも大変熱心である。

当会では2001年よりポーオ居住区の10ヵ村で学校建築や水道のプロジェクトをお手伝いしている。2005年2月に行われたミャンマー国民会議でこのポーオ族の自治権が認められた。ポーオ族ナショナルデーの3月24日にあわせて、自治権が認められなかったシャン族の一派であるSURA軍がポーオの村を襲撃したのだ。

この地域は2000年まで戦闘が続き、近年やっと平和になり、お母さん達も安心して子どもが生めるようになり、出生率も上がってきたばかりの地域だ。昨年も訪れたこの平和な村が戦火の下にあるという情報は、身近な人が不安にさらされて

いるという危惧に心が痛むとともに、平和ということ深く考える機会となった。



村人総出で子ども達のために労働奉仕を行った
床下に敷く石をバケツリレー

翌朝3月26日、ヘーホー空港から東に40kmにあるタウンジーの町のPNO本部にムエタノン村長はじめ学校建設の中心となった約10名の男衆が来訪し、私たちのために村で開催するはずであった開校式の式典を行ってくれた。村長は私たちを迎えるために村人が3日ばかりで新しい学校の装飾や食事の用意をしていたのに、とても残念です、と挨拶したあと固い握手をかわした。節くれだった力強い手のひら、赤銅色に日焼けした精悍な村長の目に涙が光っている。その涙は、子ども達の教育にかける並々ならぬ熱意を感じさせた。

改めて私たちのような小さな草の根の団体だからこそできる支援のあり方、ささやかだが、平和につなげる活動の大切さ、そして、この地域での支援の必要性を痛感しました。

2005年3月26日(土)報告 近田

インフォメーション

インドプロジェクト

インド国政府より承認される

(独)国際協力機構 JICA 草の根技術協力事業「Health Education Project」インド国ウッタラチャル州の山岳地帯の学校における健康・衛生改善プロジェクトがインド政府より承認されました。いよいよ出航です。6月にプロジェクトマネージャーのバックレイ副会長がベースライン調査を含めて現地入りし、インドの健康を知らない子ども達への生活改善プロジェクトがスタートします。



これに合わせて1週間の同行ツアーを組みます。参加ご希望の方は事務局まで。

6/12 出発予定。参加費 15 万円予定

訪問地: デリー、デラドゥン、タジマハール

あなたもゴッドにいちゃん

TPAKの特定非営利活動法人化に向けて新たな一歩となる 2006 年。今までの経験を生かしながらさらに一歩先を目指して行きたいと理事会も事務局も、燃えています。そこで地球市民の会かながわに代わる新しい団体名称を募集します。あなたのつけた名前世界を駆ける国際協力団体を育ててみませんか？



葉山長者ヶ崎にTPAKブース出現

昨年夏、TPAKの歴史に大きな一歩を記した葉山海の家「海小屋」でのブース出展から一年。今年は春から海へ！

「海小屋」の系列店の長者ヶ崎タイ料理レストラン「LUA! LUA!」にてTPAKブースを出展します。タイ人が作る本場の味、と～てもおいしいタイ料理を食べながら新入荷TPAK春夏ラインナップをぜひご覧ください！

夏♥海の家バザーボランティア募集

そして！今夏もちろん葉山一式海岸バリ島のリゾートを思わせる海の家「海小屋」でブースを出展します！海を渡る風、金色に輝くサンセット、自然いっぱいのバザーボランティア！ぜひご参加下さい。

日時：2005年7月20日～8月31日

毎週土・日曜日 12～18：00

場所：葉山一色海岸、御用邸隣「海小屋」

お手伝いいただける方はお早目に事務局までご連絡ください。特に、ビール好きの方にはお勧めです。

広がる地球市民の輪

“どこでもボランティア”奮闘中

職場や学校に置くだけの誰にでも簡単にできる「どこボラキット」。

今月は下記の皆様にご協力頂きました。

『ミットカンタノン・キット』

タイ・ストリートチルドレン自立のためのアクセサリ製作プロジェクト。

「フランス料理店 むなかた」様

『書き損じハガキ回収BOX』

ハガキ 2 枚でタイ山岳民族の子ども 1 週間分の給食費になります。

「シャーロックホームズ」様

「株式会社大川印刷」様

「株式会社白井組」様

「どこボラキット」を置いていただける方は事務局までご連絡ください。

春だ！バザーだ！全員集合！

お待たせしました！

いよいよ春のバザーがスタートします。昨年は皆さまのご協力により、過去最高の売り上げとなりました。その資金がミャンマーとタイの学校建設などの就学支援に役立ちましたことに心より感謝いたします。今年も魅力的な商品とイベントが目白押しです。TPAKバザーは皆さまのご協力無しには成り立ちません。ぜひご参加を！！詳しくはp11を見てね！

古雑誌をチェンマイ事務局に

チェンマイ事務局では、高校生大学生が集まり、毎週日曜日に、無料の日本語教室が始まっています。まだ初級クラスなので、難しい本は読めませんが、nonno、anan、などの女性誌、インテリア、ファッションなどのグラビア誌が大人気です。皆さんの読み終わった古雑誌を、ぜひ事務局までお届けください。チェンマイに行く方がいたら、運び屋をお願いします。現在20冊くらい募集しています。

内職ボランティア募集中

直線縫いだけの、簡単な裁縫です。ミシンをお持ちの方、在宅ボランティアできる方ぜひ声をおかけください。



ピアノカ お家に眠っていませんか？

「世界中の子ども達が～」と地球隊2005ミャンマーで村人との交流アイテムとしてピアノカが大活躍！そこで！お宅の押入れの奥のほ～にピアノカが眠っていませんか？新品に近いなるべくきれいなものを10個募集しています。音楽で虹の架け橋！地球隊に参加しピアノカを演奏していただける方も募集しています！詳しくは事務局までご連絡ください。

理事会議事録

出席：バックレイ、鈴木、中野、児玉

近田、伊吾田、オブザーバー 森

1.事務局より報告

<助成について> JICS, JICA 進捗状況
<タイ>・サラピー寮、A D S、メート
卒業式について事務局長出張報告。
<ミャンマー>・地球隊2005年報告
ブラヨン校長同行の様子の報告
<国内>スマトラ沖地震支援、
海外ボランティア募集M u u M u u

2.議題

- * N P O法人化に関して
 - * 2004年度会計報告(総会に向けて)
 - * 地球市民ネットワークについて、各理事の質問事項を取りまとめ
- 3.理事会の後、徒歩5分の網公園の花見宴会で盛り上がる。参加13名

プロジェクト地 温泉情報！

TPAKは松澤会長、近田事務局長はじめ、温泉には目がない善男善女が大勢いますが、今回はタイ、ミャンマーのプロジェクト地周辺にある温泉の情報をお知らせします。行ってみたい方は、事務局までご連絡ください。

タイ国サンカンペン温泉

チェンマイ県サムーン郡の協力校メートー村学校に向かうメーリム交差点を右折し20km、

広大な公園の中に個室温泉と温泉の川の長い足湯がある。泉質はなんと！硫黄泉のかなり濃い成分、温度は44度くらいで熱湯好きなら薄めずに入ることできる。庭内には、間欠泉、温泉卵、マッサージ場などあり、芝生の上で寝そべりつつ、足湯に使ったりお弁当を食べたりできる。大風呂は無いがプールがある。

ミャンマー国インレー湖温泉

シャン州ヘーホー空港よりプロジェクト地ポーオ居住区に向かう途中タンボジを左に入る。観光地として有名なインレー湖の手前、畑の中に突如南欧のリゾートのような温泉場。大浴場は露天でプールのようなタイル張り浴槽3つの開放的な作り、3年前に改装してきれいになっている。個室は一人用二人用があり、カップル対応も。泉質はナトリウム系で50度以上あるので、水で薄めている。宿泊施設も完備している。大浴場内で食事や飲み物を注文できる。日焼けに注意、それから混浴なので水着かパレオ持参のこと。



日本を含む世界中で活躍する地球市民の会かながわの仲間の現地レポートです。今回は、スリランカで緊急支援を行っている平野喜幸さん、山梨の農村で仕事を始めた松村彩香さんのお便りをご紹介します。

開発を考える

平野喜幸

1月26日地鎮祭を終え「さくら幼稚園の新園舎建設」がはじまった。アルテックが行う津波支援最初のプロジェクトである。前号でも触れたように、先の津波で海岸線にある二つの大きな幼稚園を含め4つの幼稚園が壊れたために園児があふれ「さくら幼稚園」に入園申し込みが殺到したというニーズからこのプロジェクトは始まった。しかしながら、それだけでは開発プロジェクトを行うことは難しい。開発と建設は違うからである。建設はお金があり大工と左官が居れば建物ができる。しかし、開発にはプロジェクトに参加する人々、幼稚園の運営や子ども達への教育効果など、建設を行うことによってそれに関わる人々の向上が要求される。私はそこまで達成して初めて開発だということが出来ると思う。

この園舎建設の機会を学びの場として親の参加を促し、幼稚園の活動方針を理解し、どのようにこれからの活動に参加するかを実際的に勉強してもらっている。今日のミーティングで、ようやく先生方も今回の建設が開発のスタートだということを理解頂いた。

農と共にある生活

松村彩香

4月から山梨県須玉町にある都市農村交流の活動をしているNPOのスタッフとして、住み込みで働いています。ここで出会う人の9割以上がお年寄りです。過疎化、高齢化による労働者不足から農地の半分以上が使われず、荒れた野原になっていました。借りている畑は、それを開墾したところです。最初、開墾することの意味をあまり感じら

れず「また森になればいいじゃん」と思っていました。地元の人が「ありがとね」と喜んでくれたり「これでご先祖様に顔向けできるよー」と言ってくれたりするのを聞いていて「畑がなくなってしまうたら、作物が取れなくなるだけじゃないんだ」ということに気づきました。

地元の人たちが先祖の代から作り上げてきたもの、文化とか、農と共にある生活や景色とか、あるいはこの村自体もなくなってしまうのかもしれないと思ったら切なかったです。

こういう村が、ここの他にも日本中にきつといっぱいある。同じ国に住んでいるのに身近に感じたことがありませんでした。これは、ここの人たちだけの問題ではなくて自分にもつながっていることなんだと思いました。食べ物のことを他人任せにしている意識につながっているんだと思います。

澄んだ青空の下での農作業。体を動かすとご飯がおいしく、夜ぐったり疲れて川の音を聞きながら静けさに包まれて寝るのがとても気持ち良いです。(あと温泉も!)この先やっぱり農業がしたい、こういう環境に身をおきたいと思います。そしてこの気持ちよさを多くの人に知ってもらいたいです。将来いつになるかわかりませんが、農体験を提供できて、いろんな人が集える場所...農体験を通して、食、環境、外国の人たちのこと、消費のあり方...を考えられるような場所をつくりたいです。



ボランティア体験記

地球市民の会かながわのボランティアインターンとして、優秀に活動を支えてくださった大学生の金城さん、井上さんが約2年間のインターンを卒業します。TPAKでのこれまでの活動を振りかえっていただきました。

TPAKでの2年間 金城さつき
私にとってNGOは未知のもので、一歩足を踏み出すのに時間がかかりましたが、TPAKの雰囲気にかかれインターンを始めました。完璧ではないものの、事務処理ができるようになり、TPAKでは何か仕事を行うたびに的確なアドバイスを下さると同時に、終えた後はすごく褒めて下さったので、どんなに時間がかかっても次も頑張ろうという気持ちになりました。NGOについて知り、Muu-Muuを通して、現地を訪問できたことはとても良い経験になりました。また、多くの人に出会えたことで、より実のあるものになりました。

TPAKで得たもの 井上歩
一年半はあっという間でしたが、様々な経験をさせていただきました。Muu-Muuのメンバーとして、自分の目で途上地域や子ども達の現状を見たことや、バザーなどで年代国籍問わず多くの人と出会うことで視野をグンと広げることができました。また、人間として必要な心の豊かさや本当の幸せについて学ぶこともできました。これは一方的ではなくお互いに得るものがある国際協力の魅力です。これからも自分のできることを続け、心にゆとりのある生き方をしたいと思います。

海外ボランティアメンバー募集！

地球市民の会かながわ / TPAK が10年に亘り支援を続けているタイ・アユタヤの世界最大級の孤児院で、寝食を共にしながら、子どもたちの生の声を聞き、的確な支援につなげる大学生中心の調査プロジェクトです。

現地活動期間: 2005年8月~9月の4週間を予定

国内活動期間: 2005年4月~2005年11月 (地球市民の会かながわインターンとして)

内容: 孤児院の子ども達の現状調査・アンケート調査・スポーツや文化交流

資格: 国際協力やボランティアに興味があり、積極的に活動できる方

プロジェクト前に最低4ヶ月、プロジェクト後も事務局ボランティアインターンに参加でき、報告書作成などに携わることができる方

費用: タイ渡航費一部(40,000円程度)

募集期限: 2005年4月末まで



今月は会費納入月です

地球市民の会かながわは、あなたの会費によって運営されている非営利国際協力団体です。この機会にぜひ、正会員となってこの活動を支えてください。

正会員の方は、ご継続をお願いいたします。

未入会の方は、ご入会をぜひご検討ください。

年会費: 正会員¥6,000 (毎年4月更新)

振込先: [郵便振替] 00250-4-61894 (会費とご記入下さい)

[銀行振込] 横濱銀行 新本牧支店 普通 1221533

名義: 地球市民の会かながわ

寄付のご報告(2月13日～4月4日)

文具その他のご協力	タイ:メーター奨学基金
灰塚 典子 中区	呉 正男 中区
小野 貴子 中区	高瀬 哲 磯子区
諸鹿 久子 保土ヶ谷区	横浜友の会和菓子生産部一同 栄区
望月 マサエ 保土ヶ谷区	ルンナパー奨学基金
池田 よし子 中区	小宮 勇 大和市
阿部 功 北海道	中島 美香 目黒区
大出クリニック 中区	マンマー基金
坂上 守男 保土ヶ谷区	地球隊2005参加者一同
前原 キンチー 中区	高谷 美乃里 目黒区
児玉 恭子 港北区	木村 絹代 神戸市
佐々木 恵美子 磯子区	ミッターディー孤児院寄金
白木 恵美子 南区	プায়ーン カムチャイ タイ国チェンマイ県
はがき・切手	販売協力
井上 歩 中区	ひまわりクリーニング中原店 磯子区
篠原 優子 南区	せきぜん 新潟県
小西 良子 保土ヶ谷区	アニミ 西区
白木 恵美子 南区	寄付金
池野歯科 中区	前原 成美 中区
竹之丸地区センター 中区	定例会懇親会参加者一同
竹之丸ボランティア 江崎昭 中区	足立 登美子 世田谷区
(株)モナコ 中区	小西 良子 保土ヶ谷区
横浜友の会一同 鶴見区	野中 伸晃 港北区
日本書道専門学校 目黒区	地球子ども基金
矢島 倫子 青葉区	山本 芳子 鎌倉市
矢藤 三千子 青葉区	井上 圭茂 静岡市
山極 由紀子 保土ヶ谷区	木村 絹代 神戸市
斎藤 好江 港南区	加藤 次男 墨田区
河内 一美 中区	ナンパウン寮寄金
サラピー男子寮基金	モモエイ ミャンマー国ヤンゴン市
呉 正男 中区	
寺島 三郎 中区	(敬称略)

活動報告(2月19日～4月10日)

月 日	活 動 内 容
2月19日(土)	(財)さわやか福祉財団 ワンモアライフ勤労者ボランティア賞授賞式
3月6日(日)	地球隊2005 ミャンマーへの旅・オリエンテーション
3月6日(日)	定例トークセミナー「音楽からもらう心の栄養」 講師:五味雅彦
3月7日(月)～4月8日(金)	タイ・ミャンマー現地調整出張 近田事務局長
3月22日(火)	ぬくもり届け隊 活動報告パネル展 ランドマークタワー フォーラム横浜
3月23日(水)～30日(水)	スタディーツアー地球隊2005 ミャンマーへの旅 参加:15名
3月25日(金)	COOP かながわ福祉ファンクラブバザー 参加:柳、山極、須藤、中村
3月26日(土)～27日(日)	アジア音楽交流祭バザー 参加:土肥、児玉、井上
4月2日(土)	メッターツアーオリエンテーション 講師:小西良子
4月7日(木)～10日(日)	移動寺子屋メッターツアー 参加:飯山亮平理事
4月10日(日)	理事会 & お花見 参加:13名

活動予定(4月16日～6月11日)

月 日	活 動 内 容
4月16日(土) ～17日(日)	市民活動フェア 場所：かながわ県民活動サポートセンター 10階 時間：9:00～16:00 バザーボランティア募集中！
4月16日(土)	清泉女子大学 NGOフェア 場所：清泉女子大学 品川キャンパス 講堂 時間：10:00～16:00 バザーボランティア募集中！
4月29日(祝)	サンモール・インターナショナル・スクール・フェア 場所：中区山手町 外人墓地そば 元町公園前入る 時間：10:00～16:00 バザーボランティア募集中！
5月1日(日)	総会&定例トークセミナー「大自然からもらう心の栄養」 講師：荻田泰永 場所：みなとみらいランドマークタワー13Fフォーラムよこはま セミナールーム2 時間：13:00～16:00
5月1日(日)	横浜インターナショナルスクールYIS フードフェア 場所：横浜インターナショナルスクール 港の見える丘公園まえ 時間：9:00～16:00 バザーボランティア募集中！
5月8日(日)	本牧ベシシティ祭り 場所：横浜インターナショナルスクール 時間：9:00～15:00 バザーボランティア募集中！
5月14日(土) ～15日(日)	タイ・フードフェスティバル(タイ王国大使館主催) 場所：代々木公園イベント広場 JR:原宿/渋谷駅下車 小田急線: 代々木八幡駅下車 地下鉄千代田線:明治神宮前/代々木公園駅下車 時間：10:00～18:00 一年最大のイベント 全員集合！！
5月14日(土) ～15日(日)	あーすフェスタ 場所：地球市民かながわプラザ JR 根岸線:本郷台駅下車徒歩3分 時間：10:30～16:00 バザーボランティア募集中！
5月28日(土) ～29日(日)	明治学院 戸塚祭り 場所：明治学院大学 戸塚校舎 JR 戸塚駅下車 バス10分、徒歩25分 時間：10:00～17:00 バザーボランティア募集中！
6月5日(日)	理事会 場所：事務局 理事はご出席ください。
6月11日(土)	国際交流フェスタ in あじさい祭り 場所：開成町あじさい公園 JR 東海道線小田原駅経由小田急線開成町 下車バス15分 バザーボランティア募集中！

新会員紹介	高橋 キヨ子(港北区) 木村 絹代(神戸市)
継続会員紹介	野川 思華(品川区) 梶 永源(渋谷区) 呉 正男(中区)
	百生 詩緒子(ガンビア) 小宮 勇(大和市) 山極由紀子(保土ヶ谷区)
	小西 良子(保土ヶ谷区) 加藤 次男(墨田区) 井上 房子(緑区)

かながわ便り編集スタッフ：島田克彦、高須さおり、山口千恵美、村山知子、飯山(菜)、伊吾田
印刷・発送：北見正義、山極由紀子、矢島倫子、柳信幸、中野路子、横山由季子、藤井佳奈美、近田

5月1日
(日)



総会&定例トーク セミナーのお知らせ

【第一部】2005年度年次総会 13:00より

正会員、ボランティア会員、全員集合！初めての方もどうぞお越しください。
地球市民の会かながわの2004年度の活動報告と決算、2005年度の活動予定と
予算を発表します。1年間の活動を振り返り、一緒に今後の取り組みについて考えま
しょう。一年に一度の総会ですので、ぜひご参加ください。

【第二部】“心に栄養足りていますか！？”「心の栄養」シリーズVol.2 「大自然からもらう心の栄養」 14:00より

ゲスト: 荻田泰永さん 冒険家

北極には何も無い。美しい風景があるわけでもない、毎日同じ
光景の繰り返し。歩いている間は毎日クマに怯え、安心して熟睡も
出来ない。しかし だからこそ本能に忠実になって、判断力、洞察
力、行動力をフル活用する必要がある。脳幹に忠実になるのだ。
毎日歩き、テントを張って飯を食い、寝て起きてはまた歩く。
単調な毎日だが生きている実感がある。周囲に流されることで
思考停止状態に陥った 日本社会よりもはるかに生きている実感がある。
だから僕は北極に行くのだ。



【第三部】地球市民の会かながわプロジェクト状況

ボランティアさんによる現地報告

(タイ国チェンマイ県、チェンライ県)

・増田隆太さん「ストリートチルドレンの施設での体験報告」
子ども達を取り巻く麻薬・エイズ・シンナー・貧困・家庭崩壊の
黒い影。子ども達は今！？

事務局より現地報告

・タイ国チェンマイ県メーター学校、ミャンマー国、インド国など
について、プロジェクト最新情報をお伝えします。

～定例トークセミナー会場～

桜木町ランドマークタワー13F

フォーラムよこはま

セミナールーム2

時間:13:00～16:00

会費:300円

～懇親会～

場所:JR 桜木町駅前居酒屋庄屋

会費:2000円位(学生割引アリ)



～前回のトークセミナーの報告～ 「音楽からもらう心の栄養」講師:五味雅彦氏

ある実験で水に「美しい音楽」や「愛情」を込めて気持ちを送ると綺麗な結晶が出来るそうで
す。逆に「憎しみ」の気持ちを送ると結晶はバラバラになってしまうそうです。

あなたは1日に何回感謝の言葉をもらいますか？何回嫌な言葉を耳にしますか？

五味さんが行った小～大学生650人を対象にした調査によると比率は「10:500」だそうです。
人間の体は70%水分で出来ています。1日に500回も嫌な言葉を聴いてしまったら当然心は
ズタズタになってしまうでしょう。愛情のこもった言葉を聴けば心に花が咲くのです。



地球市民の会かながわ便り

平成17年5/6月号

[通巻70号]

<定価1000円>

発行:地球市民の会かながわ/TPAK

住所:〒231-0821

横浜市中区本牧原3-1-203

Tel&Fax: 045-622-9661

E-mail: port@tpak.org

URL:http://www.tpak.org